

共催企画

「ジョージ・イーストマン博物館 映画コレクション」のお知らせ

平素よりお世話になっております。

フィルムセンターは過去3年、東京国際映画祭との共催により、アメリカを中心とした海外のフィルムアーカイブの貴重な映画コレクションを紹介してきました。「MoMA ニューヨーク近代美術館映画コレクション」(2014)、「生誕100年 オーソン・ウェルズ——天才の発見」(2015)、「UCLA 映画テレビアーカイブ 復元映画コレクション」(2016)に続き、今年は「ジョージ・イーストマン博物館 映画コレクション」を開催いたします。

今回の特集では、『クイーン・ケリー』[スワンソン・エンディング版] (1932)を始めとする1920年代から30年代の作品を中心に、アメリカ映画黄金期の名作を美しい35mmフィルムで上映します。

上映作品等、詳細は決まり次第、リリースにてご案内いたします。今後の周知へのご協力をお願いいたします。

ジョージ・イーストマン博物館 George Eastman Museum

イーストマン・コダック社の創始者であるジョージ・イーストマン(1854-1932)がニューヨーク州ロチェスター市に構えていた邸宅を、彼の死後、映画と写真の博物館に活用する形で1949年に開館。映画アーカイブとしては、アメリカで2番目に古い歴史を持ち、無声アメリカ映画を始めとする数々の貴重な作品の可燃性原版やプリントを所蔵していることで知られる。また、ロチェスター大学との共同で、映画保存の専門家を育成する教育プログラムも実施しており、世界の映画保存をリードする機関の一つでもある。2015年10月、館名をジョージ・イーストマン・ハウスからジョージ・イーストマン博物館に改称した。

『クイーン・ケリー』[スワンソン・エンディング版] (1932)

グロリア・スワンソンの独立プロダクションとユナイテッド・アーティストズの共同製作による『クイーン・ケリー』は、1928年にエリッヒ・フォン・シュトロハイム監督によって撮影が開始された。だが翌29年、シュトロハイムは撮影途中で解雇され、未完のフッテージが残された。主演兼プロデューサーのグロリア・スワンソンは、31年に新たなエンディングを追加撮影して物語を完結させ、いわゆる「スワンソン・エンディング版」を製作した。同版は34年以降、フランス、ドイツ、南米諸国で公開された(アメリカでは当時公開されなかった)。

ジョージ・イーストマン博物館は、1966年に「A Tribute to Gloria Swanson」と題し、スワンソンの業績を回顧する特集上映を行い、その後スワンソン自身から、彼女が所蔵していた多くの映画フィルムの寄贈を受けることとなった。本バージョンもその中の1本である。



Photo courtesy George Eastman Museum

*「ジョージ・イーストマン博物館 映画コレクション」開催概要

会期：2017年10月25日(水) - 11月5日(日) *月曜休館

会場：東京国立近代美術館フィルムセンター 大ホール(2階)

共催：ジョージ・イーストマン博物館、東京国際映画祭、モーション・ピクチャー・アソシエーション

助成：アメリカ合衆国大使館

<Student U30> 学生さんは無料鑑賞のチャンス! ...各回先着20名まで、30歳以下の学生の方は、学生証提示により無料となります。

<第30回東京国際映画祭 開催概要>

- イベントタイトル：第30回東京国際映画祭
- 開催期間：2017年10月25日(水) ~ 11月3日(金・祝)
- 会場：六本木ヒルズ(港区)、EXシアター六本木 他
- 公式サイト：<http://www.tiff-jp.net>



【本企画に関するお問い合わせ】

東京国立近代美術館フィルムセンター 事業推進室 白鳥・大澤・富田

電話：03-3561-0823 FAX：03-3561-0830 E-mail：nfc-pr@momat.go.jp 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6